

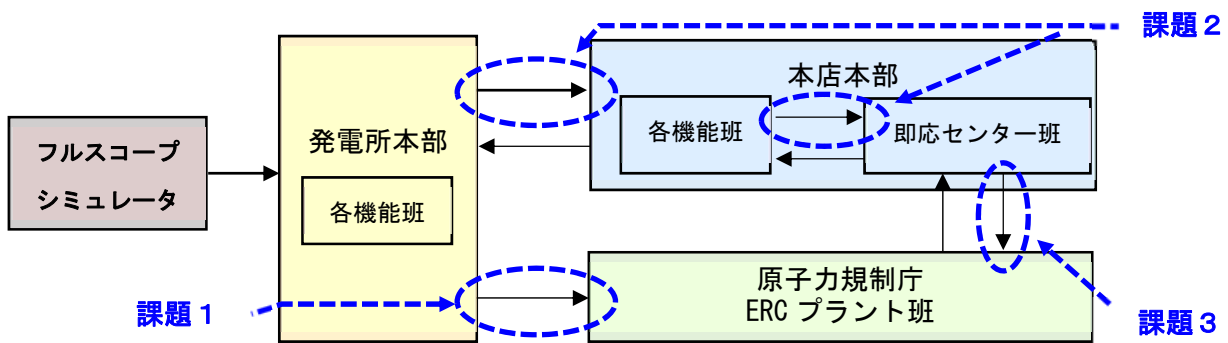
2019年度 東海発電所・東海第二発電所原子力総合防災訓練後の対応について

《東海発電所・東海第二発電所原子力総合防災訓練における課題と改善について》

2020年2月14日に実施した2019年度 東海発電所・東海第二発電所原子力総合防災訓練（以下、「昨年度訓練」という。）において、住民避難に関する重要な情報をERCプラント班へ提供する情報フローにおいて3つの問題点が確認されたため、原因分析し、課題抽出・対策立案を行った。

住民避難に関する情報フローにおける立案した対策内容について検証を行った結果、課題に対して対策内容が機能し、情報フローが正確かつ円滑に対応できていること及び本部運営機能全体に影響を与えていないことから、今回の改善が概ね有効であると評価した。

このため、昨年度訓練の再訓練を8月7日に実施し、改善が図れていることを確認する。



《確認された問題点》

●問題点1【⇒課題1】

通報連絡担当者は、規制庁へファクシミリによる通報文の送信を実施したが、法定要求である通報文の着信確認を実施しなかった。

●問題点2【⇒課題2】

本店本部設置直後に発生したEAL該当事象（SE41）の情報が速やかに即応センター班スピーカに伝わらず、ERCプラント班に対して速やかなEAL該当事象（SE41）の情報提供ができなかった。

●問題点3【⇒課題3】

スピーカは、ERCプラント班対応が不慣れであったため、発話すべき情報を整理できずにERCプラント班へ情報提供を行う場面があった。

《抽出した課題と改善スケジュール》

	2020年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
課題1 通報連絡訓練実施方法の変更により発生事象に応じた確実な通報連絡ができること	▼東海・東二訓練 (2/14)					▼東海・東二検証訓練 (6/15, 17)	▽東海・東二検証訓練 (7/27, 8/3) ▽東海・東二再訓練
課題2 即応センター班へ速やかに情報提供するための情報フローの改善		原因分析		対策検討		評価	再訓練の実施
課題3 ERCプラント班への情報提供時におけるスピーカのサポート体制の確保		原因分析		対策検討		評価	
		課題の抽出			対策の検証	対策の検証	